

平成29年度「学校評価」アンケート集計結果とその分析

平成30年2月
宮城県美田園高等学校

「学校評価」アンケートへのご協力ありがとうございました。

【集計結果及び分析の概要】

- 「学校評価」アンケートの回答数は、生徒、保護者ともに昨年度に比べ増加し、科目登録者に対する回答者の割合は約20%であった。(→ 資料1参照)
- 各設問項目の肯定的評価の割合（以下、「肯定的評価」という）を昨年度と比較すると、多くの項目で肯定的評価が高くなっているが、肯定的評価の順位の傾向には大きな変動は認められない。以下、特徴的なことについて、何点か取り上げる。(→ 資料2参照)
 - 〈生徒〉
 - ・ 肯定的評価の上位7項目と下位8項目は、昨年度と同じである。
 - ・ 上位には通信制における特徴的な学習に関する設問項目、下位には生徒会活動、学校行事などの学習以外の活動に関する設問項目となる傾向は、昨年度と同じである。
 - ・ 順位を上げた主な項目は、「13生徒の学校生活」「8学校行事」である。
 - ・ 順位を下げた主な項目は、「5基本的な生活習慣」「6相談体制」「11災害・非常時の避難方法」であるが、いずれも昨年度と比べて取組が充実していなかったわけではなく、相対的なものであると考えている。
 - 〈保護者〉
 - ・ 「2レポート添削・スクーリングと意欲・学力」が昨年度に比べて順位を大きく上げた以外は、大きな変動は見られない。
 - ・ 肯定的評価の上位、下位の傾向は、生徒とほぼ同様である。
 - 〈教職員〉
 - ・ 生徒、保護者と比較すると、順位変動が大きい。
 - ・ 肯定的評価の上位、下位の傾向は、生徒、保護者と大きな差異はない。
 - ・ 「5基本的な生活習慣」「13生徒の学校生活」の肯定的評価が7割台と他の項目に比べて低くなっているが、今年度悪くなったというよりは、もっとできるはずという教職員側の期待の表れだと考えている。
 - ・ 順位を上げた主な項目は、「12郵送物」「14生徒・保護者への学校の対応」「16組織的な日常の教育活動」である。
 - ・ 順位を下げた主な項目は、「13生徒の学校生活」「9単位修得の仕組み」「5基本的な生活習慣」「4進路指導」である。
- より詳細な各設問項目毎の集計結果及び分析は資料3にまとめたので、ご覧願いたい。
- 「学校評価」アンケートの自由記述欄には、学校に対する要望に加え、学校の取組が評価されていると感じることができる温かな言葉を多数頂戴し、今後も取組を進めていく一つの励みとなっている。また、要望についても、通信制で学ぶ生徒たちの学校生活の様子や通信制の学びのルール等に関する情報発信の在り方など、来年度の教育計画の検討するための参考としていきたい。(→ 資料4参照)
- 今年度は、重点目標である「学習中断を防ぐ取組の推進」に向けて、レポート添削、スクーリング等の通信制の学びの充実や、学習支援室等の多面的な個別支援の充実など、様々な教育活動を組織的に行ってきた。
- 今回の「学校評価」アンケートからは、生徒・保護者・教職員とも多くの項目で肯定的評価が昨年度に比べて高くなっていたことから、来年度も確かな自信をもって、上記の今年度の取組を、より充実させる改善は加えつつ、継続して取り組んでいきたい。
- 肯定的評価が低い傾向にある、特別活動（生徒会活動、学校行事など）、基本的な生活習慣等については、共有スペースの利用モラルなどを生徒自身に考えさせるマナーアップ標語の取組等に、来年度も引き続き取り組んでいきたい。
- 来年度についても、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いします。

資料1 アンケート実施の概要

〈H29〉

○実施時期：平成29年10月～11月

○対象者： 当該年度に科目登録を行った生徒786名、およびその保護者・保証人等

○回答数： 生徒151名（科目登録者の19%） 保護者・保証人等148名（科目登録者の19%）

〈H28〉

○実施時期：平成28年10月～11月

○対象者： 当該年度に科目登録を行った生徒751名、およびその保護者・保証人等

○回答数： 生徒118名（科目登録者の16%） 保護者・保証人等104名（科目登録者の14%）

資料2 肯定的評価の過年度比較

※1 〈生徒〉〈保護者〉〈教職員〉とも、H29の肯定的評価の割合(%)の高い順にソート

※2 肯定的評価 = 「よくあてはまる」+「だいたいあてはまる」

※3 「↑」「↓」は、順位が3以上の変動があったもの

〈生徒〉 設問数15

番号	内容	H29		H28	
		割合	順位	割合	順位
9	単位修得の仕組み	95.5	1	97.4	1
12	郵送物	94.6	2	90.7	2
3	スクーリングとレポート作成	93.5	3	86.4	5
14	生徒・保護者への学校の対応	90.4	4	83.9	6
15	通信制の学習スタイルへの適応	87.7	5	78.8	7
2	レポート添削・スクーリングと意欲・学力	87.2	6	87.3	4
6	相談体制	85.1	7 ↓	88.1	3
13	生徒の学校生活	76.4	8 ↑	69.5	12
8	学校行事	75.1	9 ↑	67.8	13
10	一斉配信メール	73.4	10	72.1	8
4	進路指導	72.4	11	69.5	11
1	校訓	68.0	12	65.3	14
11	災害・非常時の避難方法	67.3	13 ↓	70.3	10
5	基本的な生活習慣	65.8	14 ↓	71.2	9
7	生徒会活動	61.2	15	56.7	15

〈保護者〉 設問数12

番号	内容	H29		H28	
		割合	順位	割合	順位
2	レポート添削・スクーリングと意欲・学力	90.5	1 ↑	83.7	5
15	通信制の学習スタイルへの適応	89.6	2	88.5	3
12	郵送物	88.2	3	90.4	1
14	生徒・保護者への学校の対応	86.8	4	89.4	2
6	相談体制	86.2	5	84.6	4
10	一斉配信メール	82.7	6	73.0	6
11	災害・非常時の避難方法	77.2	7	68.3	9
8	学校行事	76.4	8	69.2	8
13	生徒の学校生活	76.4	9	71.2	7
4	進路指導	66.4	10	57.6	11
5	基本的な生活習慣	65.3	11	58.6	10
7	生徒会活動	51.1	12	53.8	12

〈教職員〉 設問数11

番号	内容	H29		H28	
		割合	順位	割合	順位
2	レポート添削・スクーリングと意欲・学力	100.0	1	96.5	2
12	郵送物	100.0	1 ↑	79.3	9
14	生徒・保護者への学校の対応	100.0	1 ↑	89.6	8
16	組織的な日常の教育活動	96.7	4 ↑	58.6	11
17	分掌目標の実現	96.7	4	89.7	5
6	相談体制	96.6	6	89.6	6
4	進路指導	93.4	7 ↓	96.5	2
9	単位修得の仕組み	92.8	8 ↓	100.0	1
7	生徒会活動	89.7	9	72.4	10
5	基本的な生活習慣	77.8	10 ↓	89.6	6
13	生徒の学校生活	70.0	11 ↓	93.1	4

資料3 平成29年度「学校評価」アンケート集計結果とその分析

設問1	校訓について		
生徒	私は美田園高校の校訓を知っている。		
数字は%を表しています	生徒		
	H29	H28	H27
よくあてはまる	23.1%	22.9%	15.2%
だいたいあてはまる	44.9%	42.4%	42.0%
あまりあてはまらない	15.4%	18.6%	15.2%
あてはまらない	9.0%	8.5%	14.3%
よくわからない	7.7%	7.6%	13.4%
アンケート結果の分析内容	校訓は本校で学んでいく生徒の姿勢を示す重要な言葉ですが、残念ながら、肯定的評価をした生徒の割合は68%で、ほぼ昨年並みでした。例年同様、新入学生の肯定的評価の割合が入学して2、3年目の生徒に比べて高い傾向があります。これは、入学式や新入生オリエンテーション(「総合的な学習の時間1」)、年度HRなどを通して校訓を目にする機会が多いためだと思われます。		
改善の方策	入学して2年目、3年目の生徒に対して、年度初めの開講式や、年度HRの場などでもう一度校訓を意識させたいと思います。		

設問2	レポート添削・スクーリングについて								
生徒	美田園高校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削・スクーリングが行われている。								
保護者	美田園高校では、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくようなレポート添削、スクーリングが行われている。								
教職員	美田園高校は、学ぶ意欲を引き出し、学力が身につくレポート添削・スクーリングを行っている。								
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員		
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27
よくあてはまる	28.0%	30.5%	23.4%	31.3%	23.1%	29.6%	26.7%	37.9%	23.3%
だいたいあてはまる	59.2%	56.8%	56.8%	59.2%	60.6%	55.6%	73.3%	58.6%	66.7%
あまりあてはまらない	8.9%	7.6%	9.9%	2.0%	7.7%	5.6%	0.0%	3.4%	6.7%
あてはまらない	1.3%	3.4%	5.4%	1.4%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
よくわからない	2.5%	1.7%	4.5%	6.1%	6.7%	9.3%	0.0%	0.0%	3.3%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の合計が生徒・保護者ともに9割程度を示しており、良好と言えます。これは、レポート添削時のコメントやスクーリングにおける教材の提示の工夫などが評価されたものと考えられます。								
改善の方策	レポート添削・スクーリングについては、個々の生徒が興味・関心を持って取り組めるようさらに工夫していきます。								

設問3	スクーリングについて		
生徒	美田園高校のスクーリングはレポート作成に役立っている。		
数字は%を表しています	生徒		
	H29	H28	H27
よくあてはまる	59.1%	54.2%	55.0%
だいたいあてはまる	34.4%	32.2%	35.1%
あまりあてはまらない	3.2%	8.5%	6.3%
あてはまらない	2.6%	2.5%	0.9%
よくわからない	0.6%	2.5%	2.7%
アンケート結果の分析内容	昨年度などに比べて、肯定的意見が増加しています。教科ごとに、各担当教員が工夫を凝らしてスクーリングにあたっている結果が表れているものと思います。		
改善の方策	設問2でも示しましたが、次年度も、生徒が興味関心を持ちながら学習に取り組み、さらに理解を深められるような自作教材の提示等でスクーリングを組み立てていくなどの工夫をしていきます。		

設問4		進路指導について								
生徒	美田園高校では、進路目標を明確にするための指導が適切に行われている。									
保護者	美田園高校では、進路目標の明確化に向けた生徒への指導が適切に行われている。									
教職員	美田園高校は、適切な進路指導を行っている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	25.6%	22.9%	16.1%	21.2%	16.3%	17.4%	36.7%	31.0%	33.3%	
だいたいあてはまる	46.8%	46.6%	43.8%	45.2%	41.3%	43.1%	56.7%	65.5%	60.0%	
あまりあてはまらない	10.3%	10.2%	15.2%	14.4%	19.2%	8.3%	0.0%	3.4%	3.3%	
あてはまらない	1.3%	5.1%	1.8%	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	16.0%	15.3%	23.2%	19.2%	21.2%	29.4%	6.7%	0.0%	3.3%	
アンケート結果の分析内容	進路室来校生徒は、12月現在で338名にのぼるなど、進路に対する関心の高まりがみられ、肯定的評価が一定程度増加しています。他方、「よくわからない」が16%と高くなっているが、周知の不足が要因の一つであると思われます。									
改善の方策	多くの生徒への周知のため、科目登録の機会を活用するなど改善に取り組んでいきます。通信制高校においては、生徒の進路志望は多様であり、進路指導が他校よりも難しい面がありますが、次年度もさらに引き続き改善に取り組めます。									

設問5		基本的な生活習慣について								
生徒	美田園高校では、社会生活を営むうえで必要なマナーを身につけるような指導が適切に行われている。									
保護者	美田園高校では、社会生活を営むうえで必要なマナーを身につけるような指導が適切に行われている。									
教職員	美田園高校は、生徒が、基本的な生活習慣を身につけられるよう指導している。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	20.0%	22.0%	17.0%	14.6%	14.4%	13.8%	14.8%	17.2%	10.0%	
だいたいあてはまる	45.8%	49.2%	37.5%	50.7%	44.2%	48.6%	63.0%	72.4%	36.7%	
あまりあてはまらない	20.0%	14.4%	25.0%	13.2%	18.3%	13.8%	11.1%	6.9%	43.3%	
あてはまらない	3.9%	7.6%	3.6%	0.7%	1.0%	2.8%	7.4%	0.0%	6.7%	
よくわからない	10.3%	6.8%	17.0%	20.8%	22.1%	21.1%	3.7%	3.4%	3.3%	
アンケート結果の分析内容	昨年よりも減少したものの、肯定的意見の割合が60～70%の範囲で推移しています。また職員評価では「あてはまらない」の割合が増えましたが、期待感の高まりととらえています。ラウンジの注意喚起掲示に加え、生徒が考えたマナーアップ標語の掲示も1月から開始しました。効果が期待されます。									
改善の方策	今年度より始めた校内マナーアップ標語コンテストをより充実させます。ルールやマナーについて意識する機会をできるだけ多くできるように標語作成の他に作品に投票を行うなど工夫をします。日常的には教職員間で共通理解を図りながら、その場でタイムリーな指導を行います。									

設問6		相談の体制について								
生徒	美田園高校では、先生やカウンセラーが、必要ときに相談に応じてくれる体制ができている。									
保護者	美田園高校では、先生やカウンセラーが、必要ときに相談に応じてくれる体制ができている。									
教職員	美田園高校では、教員やカウンセラーが、必要ときに生徒・保護者の相談に応じられる体制ができている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	50.3%	44.9%	35.7%	42.1%	31.7%	29.4%	63.3%	37.9%	48.3%	
だいたいあてはまる	34.8%	43.2%	43.8%	44.1%	52.9%	48.6%	33.3%	51.7%	51.7%	
あまりあてはまらない	3.9%	3.4%	5.4%	4.8%	3.8%	11.0%	3.3%	6.9%	0.0%	
あてはまらない	1.3%	1.7%	1.8%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	9.7%	6.8%	13.4%	9.0%	10.6%	11.0%	0.0%	3.4%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	「よくあてはまる」の割合が昨年度よりも高くなっています。特別支援教育委員会等での組織的対応、SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)等の外部専門家の有効的活用が肯定的評価に結びついていると考えられます。「あてはまらない」と回答した生徒がいたのは、SCの相談に空きがないという状況が一因ではないかと考えられます。									
改善の方策	今後とも教職員と外部専門家との組織的対応の充実を図ります。また、SCの予約に空きがない場合でも、SSWや教員に相談できることを生徒や保護者にアピールします。									

設問 7		生徒会活動について								
生徒	美田園高校の生徒会活動は活発である。									
保護者	美田園高校の生徒会活動は活発である。									
教職員	美田園高校の生徒会は、活発な活動を行っている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	15.1%	20.3%	25.0%	11.9%	11.5%	14.7%	34.5%	3.4%	30.0%	
だいたいあてはまる	46.1%	36.4%	36.6%	39.2%	42.3%	44.0%	55.2%	69.0%	60.0%	
あまりあてはまらない	11.8%	9.3%	8.9%	9.8%	13.5%	8.3%	6.9%	20.7%	3.3%	
あてはまらない	0.7%	4.2%	6.3%	2.8%	2.9%	0.9%	0.0%	3.4%	0.0%	
よくわからない	26.3%	29.7%	23.2%	36.4%	29.8%	32.1%	3.4%	3.4%	6.7%	
アンケート結果の分析内容	肯定的評価/否定的評価の割合は昨年度とほぼ変わりません。一方で「よくわからない」と答えた生徒も毎年一定数おり、生徒会活動に関心のある生徒とそうでない生徒と明確に分かれています。生徒会行事は「みたぞの」で告知していますが、生徒会中央委員からも、PR不足が原因との意見が出ています。また生徒からは、告知から実施まで間が空くため、忘れて参加できなかったという声もありました。									
改善の方策	「みたぞの」以外にも、ポスターの掲示など告知の方法を工夫し、多くの生徒が参加できるようにしていきたいと思います。									

設問 8		学校行事について								
生徒	美田園高校の学校行事(遠足、運動会、年度HRなど)は、有意義である									
保護者	美田園高校の学校行事(遠足、運動会、年度HRなど)は、生徒にとって有意義なものが設定されている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者						
	H29	H28	H27	H29	H28	H27				
よくあてはまる	32.0%	30.5%	24.1%	23.6%	14.4%	21.1%				
だいたいあてはまる	43.1%	37.3%	39.3%	52.8%	54.8%	59.6%				
あまりあてはまらない	8.5%	11.9%	10.7%	9.7%	17.3%	3.7%				
あてはまらない	2.0%	4.2%	5.4%	0.7%	2.9%	2.8%				
よくわからない	14.4%	16.1%	20.5%	13.2%	10.6%	12.8%				
アンケート結果の分析内容	今年度は2年ぶりに遠足を実施することができ、170名もの多くの参加がありました。運動会等の満足度も高く、行事としての時数認定にもつながるため、多くの生徒から求められる行事と考えられます。保護者についても肯定的評価が増加しています。									
改善の方策	行事は、コミュニケーションを図れる貴重な場であり、行事を楽しみにしている生徒が多くいることが感じられます。参加者数がなかなか確定できないなど不確定要素から実施できる行事に制約はありますが、今後ともどのような行事が可能か検討し、実施していきたいと思います。									

設問 9		単位修得の仕組みについて								
生徒	単位修得の仕組みを理解している。									
教職員	学校は、適切な科目登録の指導を行っている。									
数字は%を表しています	生徒			教職員						
	H29	H28	H27	H29	H28	H27				
よくあてはまる	70.3%	72.0%	64.3%	32.1%	41.4%	40.0%				
だいたいあてはまる	25.2%	25.4%	30.4%	60.7%	58.6%	56.7%				
あまりあてはまらない	3.2%	1.7%	2.7%	7.1%	0.0%	0.0%				
あてはまらない	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
よくわからない	0.6%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	3.3%				
アンケート結果の分析内容	生徒の評価においては、昨年度までと同様に、肯定的な評価が90%を超えています。生徒必携への掲載、入学式後のオリエンテーション、「総合的な学習の時間1」での取り組みの成果だと考えられます。教職員の評価における否定的な評価については、入学時期によって教育課程に異なることなどにより指導に苦慮する場面があるのではないかと考えられます。									
改善の方策	生徒に対しては、今後も現在の指導形態を継続し、更なる理解の向上に向け取り組みたいと思います。教職員に対しては、科目登録に関する事前学習の機会を増やし、様々なケースにおけるポイントを共有し生徒への指導に役立てたいと思います。									

設問 10		一斉配信メールについて					
生徒	学校からの一斉配信メールを登録している。						
保護者	学校からの、一斉配信メールを知っている。						
数字は%を表しています	生徒			保護者			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	64.3%	63.6%	58.9%	59.3%	49.0%	55.0%	
だいたいあてはまる	9.1%	8.5%	12.5%	23.4%	24.0%	12.8%	
あまりあてはまらない	5.2%	2.5%	4.5%	2.8%	4.8%	2.8%	
あてはまらない	15.6%	13.6%	13.4%	2.1%	5.8%	3.7%	
よくわからない	5.8%	11.9%	10.7%	12.4%	16.3%	25.7%	
アンケート結果の分析内容	生徒・保護者とも肯定的評価が増加しています。今年度より一斉メール担当者が生徒部長だけでなく、防災主任や教頭も加え、きめ細かな配信が可能となりました。春には防災避難訓練を通じて一斉メールの試験送信も行っています。						
改善の方策	「台風による臨時休校」「津波警報への対応」など緊急情報発信の手段であることから今後も登録を呼びかけていきます。先ず入学当初の広報が登録数を増やす一番の近道であり、4～5月のラウンジ掲示、集会やホームルームでの周知に力を入れます。						

設問 11		災害・非常時の避難方法について					
生徒	学校での、災害・非常時の避難方法を知っている。						
保護者	学校は、災害・非常時の避難方法を生徒に伝えている。						
数字は%を表しています	生徒			保護者			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	28.1%	36.4%	25.9%	45.5%	27.9%	32.7%	
だいたいあてはまる	39.2%	33.9%	26.8%	31.7%	40.4%	29.9%	
あまりあてはまらない	20.3%	9.3%	22.3%	3.4%	6.7%	5.6%	
あてはまらない	5.2%	8.5%	12.5%	2.1%	2.9%	3.7%	
よくわからない	7.2%	11.9%	12.5%	17.2%	22.1%	28.0%	
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合が保護者では9%程度増えていますが、生徒では3%減少し、否定的評価が7%以上増加しています。避難方法について防災HRなどで周知はしていますが、周知する機会が少なかったからではないかと思えます。						
改善の方策	命に係わる内容ですので、100%の理解を目指したいと思えます。防災HRの充実を図るとともに、入学式や通信物など様々な機会をとらえて、火災、地震、津波時の避難方法について周知を図っていきます。						

設問 12		郵送物について								
生徒	学校だより『みたぞの』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。									
保護者	学校だより『みたぞの』や年度だより等の郵送物で、学校の情報を十分得ることができている。									
教職員	学校だより『みたぞの』やその他の郵送物は、情報発信として十分な内容である									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	48.3%	50.0%	50.9%	39.6%	38.5%	42.2%	30.0%	27.6%	43.3%	
だいたいあてはまる	46.3%	40.7%	44.5%	48.6%	51.9%	52.3%	70.0%	51.7%	53.3%	
あまりあてはまらない	3.4%	2.5%	2.7%	6.3%	3.8%	2.8%	0.0%	17.2%	3.3%	
あてはまらない	0.7%	1.7%	0.9%	2.8%	1.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	1.4%	5.1%	0.9%	2.8%	4.8%	0.9%	0.0%	3.4%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	生徒と保護者の肯定的評価の割合が9割程度あるので、情報伝達の大切な手段と認識されています。しかし、約6%の保護者が「あまりあてはまらない」と回答しています。これは、保護者が郵送物に目を通せないこともあるものと思われれます。									
改善の方策	郵送物は、すべての方に見てもらえるよう紙面等の充実を図るとともに、様々な機会をとらえて生徒だけではなく保護者・保証人も確認するように働きかけをしていきます。									

設問 13		生徒の学校生活について								
生徒	学校での生活は充実している									
保護者	生徒の学校生活は充実している。									
教職員	生徒の学校生活は充実していると思う									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	24.3%	26.3%	30.9%	26.4%	18.3%	26.9%	6.7%	31.0%	13.3%	
だいたいあてはまる	52.1%	43.2%	38.2%	50.0%	52.9%	43.5%	63.3%	62.1%	46.7%	
あまりあてはまらない	13.9%	12.7%	16.4%	10.4%	14.4%	14.8%	16.7%	3.4%	16.7%	
あてはまらない	4.9%	9.3%	10.0%	2.8%	5.8%	4.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	4.9%	8.5%	4.5%	10.4%	8.7%	10.2%	13.3%	3.4%	23.3%	
アンケート結果の分析内容	生徒と保護者の肯定的評価の割合は昨年度とほぼ同じでしたが、教職員の肯定的評価は減少しました。今年度になって生徒の様子が大きく変化したというよりも、教職員側には生徒の学校生活はもっと充実させることが可能だという期待があることから、評価が低くなる傾向にあるものと思われます。									
改善の方策	本校では、「学校生活」において最も重要な生徒の学習活動を充実させ、学習中断せずに、単位修得率を上昇させることを最重点目標として取り組んでおります。今後も教職員一人一人が、生徒にふさわしい指導のあり方を検討し、工夫・改善に取り組んでいきたいと思っております。									

設問 14		生徒・保護者への学校の対応について								
生徒	美田園高校の先生方は、疑問や質問に丁寧に対応してくれる。									
保護者	美田園高校の教職員は、対応が丁寧である。									
教職員	学校は、生徒や保護者に丁寧な対応をしている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者			教職員			
	H29	H28	H27	H29	H28	H27	H29	H28	H27	
よくあてはまる	52.7%	54.2%	53.6%	42.0%	41.3%	42.2%	37.0%	37.9%	36.7%	
だいたいあてはまる	37.7%	29.7%	36.4%	44.8%	48.1%	45.0%	63.0%	51.7%	60.0%	
あまりあてはまらない	3.4%	5.1%	4.5%	4.2%	4.8%	6.4%	0.0%	10.3%	3.3%	
あてはまらない	0.7%	2.5%	0.9%	0.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
よくわからない	5.5%	8.5%	4.5%	8.4%	4.8%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
アンケート結果の分析内容	保護者の肯定的評価が若干減少したものの、生徒、教職員の肯定的評価の割合はやや高くなりました。保護者への対応は、生徒に比べると機会に限られる上、顔の見えない電話での対応も多いことから、お互いの意図が十分伝わらないという事情が背景にあるのではないかと思います。									
改善の方策	生徒に対しては、今まで通りレポート、スクーリングにおけるきめ細かな指導と個別面談の実施を心がけると同時に、保護者に対しても、より一層丁寧に対応していくことを心がけていきます。									

設問 15		通信制の学習スタイルについて								
生徒	通信制における自学自習を基本とする学習スタイルが自分には合っている。									
保護者	生徒には、通信制における自学自習を基本とする学習スタイルが合っている。									
数字は%を表しています	生徒			保護者						
	H29	H28	H27	H29	H28	H27				
よくあてはまる	51.0%	44.1%	45.0%	50.0%	42.3%	41.3%				
だいたいあてはまる	36.7%	34.7%	37.6%	39.6%	46.2%	44.0%				
あまりあてはまらない	6.1%	5.9%	9.2%	4.2%	7.7%	3.7%				
あてはまらない	1.4%	2.5%	0.9%	2.1%	0.0%	1.8%				
よくわからない	4.8%	12.7%	7.3%	4.2%	3.8%	9.2%				
アンケート結果の分析内容	生徒・保護者共に肯定的評価が増加しており、肯定的にとらえられている反面、否定的評価の合計が6～7%ありました。学校説明会や入学後のオリエンテーションなど理解の場を設けていますが、通信制の仕組みを十分理解しないまま学習している生徒が一定数いるものと思われます。									
改善の方策	通信制の仕組みを十分理解しないまま学習している生徒に対しては、何らかの支援が必要であることから、さらに入学前の学校説明会の広報、内容の充実とともに、入学後も面談等の場で周知を図っていきます。									

設問 16	日常の教育活動について		
教職員	美田園高校の職員は、組織の一員として日常の教育活動に当たっている。		
数字は%を表しています	教職員		
	H29	H28	H27
よくあてはまる	40.0%	3.4%	56.7%
だいたいあてはまる	56.7%	55.2%	36.7%
あまりあてはまらない	3.3%	20.7%	6.7%
あてはまらない	0.0%	6.9%	0.0%
よくわからない	0.0%	13.8%	0.0%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合が昨年度より上昇し、一昨年並みの水準になりました。「生徒の学習中断を防ぐ取組の推進」を重点目標に掲げて、全職員が一体となって努力してきた結果ではないかと思われます。		
改善の方策	今後も「県内唯一の公立通信制高校」という本校の使命を自覚して、レポート、スクーリングなど、日々の活動に取り組むとともに、校内での個別学習支援やeラーニングをさらに充実させ、「学習中断を防ぐ」という目標に全職員で取り組んでいきます。		

設問 17	分掌目標の実現について		
教職員	美田園高校の職員は、分掌目標の実現のために努力している。		
数字は%を表しています	教職員		
	H29	H28	H27
よくあてはまる	40.0%	27.6%	56.7%
だいたいあてはまる	56.7%	62.1%	40.0%
あまりあてはまらない	3.3%	3.4%	3.3%
あてはまらない	0.0%	3.4%	0.0%
よくわからない	0.0%	3.4%	0.0%
アンケート結果の分析内容	肯定的評価の割合が昨年度より上昇し、一昨年と同じく9割以上の教職員が肯定的な回答をしています。「設問16」の肯定的評価の割合が上昇したことにもない、自分が所属している分掌の仕事が、学校全体の教育目標の達成につながっていくということが意識されてきた結果ではないかと思われます。		
改善の方策	学校全体の教育目標を常に意識しつつ、年度、部、委員会など個人が直接関わっている分掌の仕事に今後も力を尽くしていきたいと思えます。		

資料4 自由記述欄の主な記載内容

<要望>

- ・「eラーニングの利用方法がよくわからない。」(生徒)
- ・「子供たちの学校での様子がよりわかるとよい。」(保護者)
- ・「保護者もより学校に関われる機会をより多くして欲しい。」(保護者)

<高評価>

- ・「遠足などの社会見学は楽しかったので、次も楽しみにしています。」(生徒)
- ・「先生方やカウンセラーさんに相談にのっていただき、学校生活にも慣れてきたように思います。ありがとうございます。」(保護者)
- ・「レポート添削のコメントがいつも書かれていて、子どもと一緒に毎回楽しみにしています。ありがとうございます。」(保護者)